

令和3年度 第1回 名西高等学校学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和3年7月15日(木) 午後2時から午後3時30分まで

2 場 所 名西高等学校 会議室

3 会 議

(1) 役員選出について

会長に河崎藤花同窓会長，副会長に臼井学校長が承認された。

(2) 協議

① 学校経営方針について

臼井学校長が，令和3年度学校経営方針について説明し，承認された。続いて，名西高校の現状については，本年度導入されたスクールミッション，スクールポリシー，高校入試の募集案内に掲載される学校情報について，変更点についての説明をした。

令和3年度1学期の成果として，運動部では高校総体及び四国総体の結果インターハイに3部が出場，芸術科のコンクール結果において全国上位入賞等，昨年度以上の結果が出ているとの報告をした。

最後に名西高校芸術科のPR動画を上映した。

② 教育課程の編成について

佐藤教務課長が，令和3年度の教育課程について説明し，承認された。

③ 学校評価総括評価票について

村山教頭が，令和3年度学校経営計画について説明をした。

④ 今までの地域との連携について

向井芸術科長が，最近の地域貢献活動では，ストリートピアノのデザイン制作(美術・書道)及びフジグラン石井でのミニコンサート(音楽)，しらさぎ中学校開校式での校歌合唱(音楽)，校章(美術)校歌校訓(書道)制作について説明した。

⑤ 各委員からの提言等について

(ア) 令和3年度普通科入学生の定員が50名に減少したが、地元の中学生の希望状況はどうか。

(中学校側)

中学生の数が減ったときに定員が大きく減り、その後中学生の数が増えても定員は増えないので、地元の高校に行きたい生徒の希望を叶えるため、中学校としても要望している。

普通科の魅力をしっかり発信していただきたい。

(イ) 総合的な探究の時間は、1年生はエシカル消費について学んでいるようだが、2・3年生は何をするのか。

(学校側)

2年生は「エシカル消費の視点」からテーマを決めて、グループで研究し発表する。3年生は、個人で研究を進め、各進路につなげている。普通科・芸術科ともに行っている。

2年生は、2学期からドイツの高校生とオンラインで環境問題についての意見交換を行う予定である。

(ウ) 高校入試の募集案内に掲載される学校情報のキーワードが「文化芸術リーディングハイスクール」「地域貢献」とあるが、今年度限りのものなのか。是非永続的にしていただきたい。

(学校側)

現在のところ、県教育委員会からスクールミッション等は5年間継続すると説明を受けている。永続的なものにしていくためには、5年間実績を積み上げていくことが重要である。

(エ) 高校卒業後の進路はわかるが、その後の進路についても追跡結果を知らせて欲しい。

(学校側)

現在、昨秋や今春教育実習に戻ってきた生徒は、現役で高校教員に合格した生徒もいるし、大学生活も有意義に過ごすことができている。

(オ) 昨年、エシカル消費を通して高校生と学校外の人とのつながりを提案したが、これからも外部の人とのつながりを受け入れる余裕は学校にあるか。

(学校側)

現在の地域の方とのつながりを大切にしつつ、今後もさ

らに発展させていきたいと考えている。

(カ) 名西高校の内科検診をしていて、自信を持つ生徒が増えていると感じている。これは素晴らしいことだと思う。今後若年層へのワクチン接種が開始される。不安のある生徒には、正しい情報を伝えることが大切である。

(キ) 名西高校の素晴らしい取り組みを石井町民や県内、さらには県外の人、中学生にしっかり広報して欲しい。

広報の一環として、石井ケーブルテレビの地域情報で流すのはどうか。

(学校側)

学校のホームページに新しい情報を掲載する努力を行っている。石井ケーブルテレビについては、検討したい。

7月20日(火)にNHK「とく6徳島」で箏曲部が「ぶらキャン」のコーナーに出演、美術は9月と12月に東京MXテレビのアート甲子園の出演が決まっている。今後もしっかり広報に努めていきたい。